

No.121

さい議会だより



観光シーズン到来：仏ヶ浦駐車帯完成

佐井村議会

3月定例会

厳しさ増す財政運営 … 4 ページ

生活安定の対策図れ … 5 ページ

55歳で給料昇給停止 … 6 ページ

ESTATE

発展のため有効活用

総額 39億4千3百92万9千円

生産基盤整備



矢越漁港視察

- ◎地域水産物供給基盤整備事業
・漁港建設費 2億2千2百61万9千円
- ・魚礁設置費 1千7百11万9千円
- ◎水産業振興事業
・漁協が行なう事業に対する補助金 2千5百66万6千円
- ◎漁民の森づくり活動推進事業 55万円
- ◎鳥獣害防止施設整備事業 3百万5千円
- ◎公共牧場管理事業 2百52万1千円
- ◎農産物及び加工品の販売促進事業 2百18万1千円

生活環境整備

- ◎市町村合併事務事業費 6百50万6千円
- ◎不燃物処理場管理運営事業費 9百55万8千円
- ◎下北地域一般廃棄物処理施設建設事業費 3千8百75万6千円
- ◎リサイクル関係事業費 7百39万6千円
- ◎屎尿処理事業費 1千9百36万3千円
- ◎小原田川線整備事業費 4百83万5千円
- ◎第7分団機械器具格納庫整備事業 1千3百万円
- ◎街路灯管理事業 4百47万5千円



不燃ごみ処理作業：アクス・グリーン

平成十五年第一回定例会は、三月七日から三月十四日まで八日間の日程で開かれました。今定例会には、平成十五年度一般会計当初予算のほか議案二十九件が提出され、予算・条例等審査特別委員会において慎重に審議し、三月十三日の総括審査において、すべて原案のとおり可決しました。

限りある予算・村の

15年度一般会計・特別会計予算

特別会計

- ◎簡易水道事業特別会計（水道メータ一購入費など） 1億5千4百3万5千円
- ◎下水道事業特別会計（佐井地区下水道施設建設に要する経費など） 2億7千8百24万9千円
- ◎国民健康保険事業特別会計（健康づくり） 3億6千2百64万4千円
- ◎対策事業費など 2億7千8百24万9千円

福祉



室内ゲートボール大会

- ◎高齢者生活福祉センター運営事業費 1千4百83万1千円
- ◎ほのぼの交流事業費 4百60万5千円
- ◎身体・知的障害等支援事業費 5千5百78万8千円
- ◎在宅介護支援センター運営事業費 9百86万円
- ◎高齢者生きがい活動支援事業費 4百83万8千円
- ◎外出支援サービス事業費 3百64万4千円

教育

- ◎外国語指導助手招致事業費 6百27万5千円
- ◎奨学資金貸付事業費 1千7百10万円
- ◎青少年国際交流事業費 2百9万6千円
- ◎民俗文化財保存活用事業費
・郷土芸能の伝承奨励に要する経費 4百90万8千円
- ◎介護保険特別会計（老人医療給付に要する経費など） 4億2千3百28万4千円
- ◎介護サービス（介護サービスに要する経費など） 1億7千8百55万4千円



矢越の歌舞伎
弁天小僧浜松屋ゆすりの場

總括質疑

厳しさ増す財政運営 過去にない赤字予算

地方交付税は国から示された数値で算定しており、どのような推移になるかは本算定しなければ分からな

臨時財政対策債
　　満額計上

このまま予算が執行されると、少なくとも4千7百円の赤字が生ずるが、そのまま赤字決算で処理するのか、それとも繰上充用で処理するのか。

平成十五年度の予算は、赤字予算である。

いが、普通交付税は固く見
積っている。



建設が遅れている消防分署

赤字額が生じた場合、平成十六年度の翌年度歳入歳出上充用で処理したいと考えている。

行財政改革 積極的な推進を

厳しい財政環境の中、今後とも行政改革を積極的に推進しなければならないと考えるが、村長の考えを伺いたい。

村の経済がすいぶん低迷し、税収の落ち込みが懸念される。

住民課長 戸別徵収を実施し、滞納整理に努める。
累積滞納者には、従来どおり滞納整理組合とタイアップし、滞納解消に銳意努力する。

繰上充用で

税収の落ち込み 村の財政に影響



子供たちのためにも元気な村づくりを：佐井小入学式

生活安定の対策を図れ

漁家の不安解消



クロソイ放流式：佐井漁港（アルサス前）

利用できないか。

原発の進展と併せて検討したい。

基金の取崩し
今年度は無理タラの資源
どう考える村長
電源開発㈱と協定を結んでおり、平成十五年度の水産振興基金の取崩しは無理である。

下水道整備に水産振興基金の活用は、これからの課題である。

アワビ稚貝
購入できないか福田議員
脇野沢村長がタラ資源確保の観点から、県の補助が得られなければ一定の期間、網を入れないで漁を止めると言っているが、詳しく聞いていないか。村長
NTTなどに
要望する福田議員
海難事故の際、携帯電話の活用で漁業者の生命が保たれるので、村全体に通じるよう関係機関に要望できないか。福田議員
携帯電話が活躍

福田議員

元の漁場に戻せないか

中磯谷から佐井付きの海にテトラボットが入り、ノリ、フノリの漁場がなくなりた。

福田議員
元の漁場に作り直すことができるいか。

関係機関と詰めている

産業振興課長
漁協と県土整備事務所との話し合いで、長後バイバスの工事が終った後に投石をして磯づくりをしたい福田議員
国道338号願掛公園附近
この問題で連携が取れるのか一度話し合いたいと考えている。

福田議員
漁業施設などを整備する

村長
漁業資源の維持増大と、

福田議員
漁業施設整備など水産基盤の整備は今後とも必要であり、実施する。
また、漁場環境保全のため、漁業集落環境整備事業を継続する。

下水道整備を

福田議員
アワビの中間施設は、今入っている稚貝を出せば、今年は買えないといふこと。説明があつたが、漁家生活の安定のためにも考えていただきたい。

現段階での補助は無理

村長
アワビ中間育成事業の重要性は十分理解しているが、財政問題もあり現段階での補助は困難だが、大間

海をきれいにするには下水道の整備が必要である。下水道の加入率を引き上げるために、水産振興基金を用いるため、水産振興基金を継続する。

下水道整備を



国道338号願掛公園附近

職員給料

55歳で昇給停止



役場職員互助会による清掃活動

島野委員

職員の昇給停止年齢を国、県と同様、五十五歳に引き下げる改正案だが、佐井村の職員の給与は八級制を採用しており、国、県は十一級制を採用しているので、五十五歳に停止年齢を下げても、町村職員の八級制以上の給与が保障されている。

村の職員の給与基準を国、県と同様に扱うことに疑問を感じている。

行政診断で

指導受けた

総務課長

県の行政診断の際、昇給停止を条例化するよう指導を受けた。

島野委員

先日の各課の審査の段階で、県はこの指導に当つて弾力的に扱うことと了承している。ように説明を受けているが。

県の指導は

弾力的に

佐井村議会の見学をして

長後小学校6年 大石綾子



大石綾子さん

経過措置設け

運用する

総務課長

仮に条例化された時点では、五十五歳になつたからすぐ昇給停止になるということではなく、経過措置を設けて運用するので、ご理解いただきたい。

先日は、議会を見学させていただき、ありがとうございました。



村議会では、今まで知らなかつたことを学ぶことができました。

その一つ目は、一つの問題に対して質問が一つで終らず、いろいろな観点から見て、たくさん質問をしていたところです。

二つ目は、答える人はそのままの質問に応じ、違う人が答えるということです。

三つ目は、議会はとても難しい話をしているので、難しそうな顔をして話し合っていると思いましたが、途中で笑っていた時もあつたので、話しやすい雰囲気になっているということです。

すごいなあと思ったところは、村長さんたちが質問に対して細かくていねいにわかりやすく答えていたと

ころと、議員さんが村の不便なところをちゃんと質問していました。私は村議会の見学をして、議会について良くわかることができました。本当にありがとうございました。

村のために頑張っている

村長さんや議員さんの話し合いを、私も学校での生活に役立てたいと思います。

新たな議員でスタート

改選後、初めて開催された臨時会において、議会の組織を決定しました。議長に川岸一彦議員、副議長に島野満義議員を選出し、各常任委員会、議会運営委員会などの委員をそれぞれ選任（8ページに組織表を記載）しました。



島野満義副議長



川岸一彦議長



田中正行議員



竹内典和議員



坂井文明議員



工藤明道議員



田中岩男議員



福田秋雄議員



川畑勲夫議員



中村正和事務局長



宮川尚議員



山口捷夫議員



千葉悦治議員

議会組織表

議長	川岸一彦	副議長	島野満義
----	------	-----	------

委員会の名称	委員長	副委員長	委員
総務文教常任委員会	田中正行	福田秋雄	川岸一彦・竹内典和 千葉悦治・工藤明道
産業建設常任委員会	坂井文明	宮川尚	島野満義・川畠勲夫 田中岩男・山口捷夫
議会運営委員会	川畠勲夫	山口捷夫	田中正行・坂井文明 宮川尚
議会広報編集委員会	田中正行	坂井文明	島野満義・田中岩男 福田秋雄
大間原子力発電所 対策特別委員会	山口捷夫	田中岩男	正副委員長を除く全議員
佐井バイパス整備 促進特別委員会	川畠勲夫	工藤明道	宮川尚・山口捷夫 竹内典和
市町村合併調査 研究特別委員会	宮川尚	千葉悦治	正副委員長を除く全議員

下北地域広域行政事務組合議會議員	福田秋雄・竹内典和
一部事務組合下北医療センター議會議員	田中岩男・工藤明道
佐井村監査委員(議会代表)	竹内典和
消防委員	総務文教常任委員会委員全員

次の議会は6月中旬です
村政を知る機会です
傍聴してみませんか

